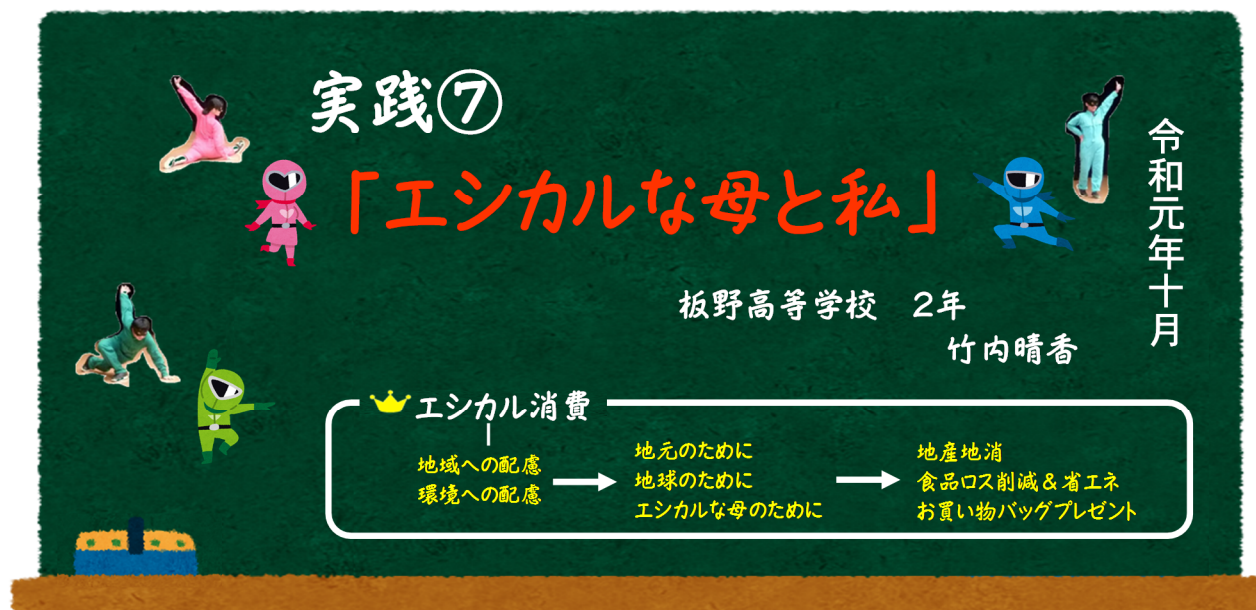




皆さん、今日は、エシカル消費の推進を行っている地元『板野高等学校』に通う「竹内さん」のお話を聞いてみましょう。それでは、よろしくお願いします。

こんにちは、竹内です。板野高校では、生徒会と演劇部は文化祭で、家庭科研究部は板野町のイベントで、家庭クラブは調理実習で、フェアトレード商品をはじめ、様々なエシカル消費の推進を行っています。

私は、「徳島県高等学校家庭クラブ研究発表大会」でエシカル消費をキーワードとした研究発表をするため、自分の家でどんな食材を使っているのか調査を行いました。私は、今まで母が用意してくれる食事を何も意識せず食べていましたが…調査の結果、徳島県産の食材がたくさん使われているのを発見しました。そこで、何か意識しているか母に尋ねてみると、安くて新鮮な旬の食材を産直市で購入したり、食材を無駄にしないようカレンダーに献立を記入したりと、母は私が想像していたよりも、なかなかの“エシカルな母”でした。

でも、台所には反エシカルな部分もあり、使い切れずに余った食材があることを発見しました。そこで、私は、インターネットでレシピを検索し、余った食材を様々な料理に変身させ、我が家の食卓のバリエーションを増やすと同時に、冷蔵庫もすっきりさせることに成功。父から「電気代の節約になる。」と喜んでもらえました。

調査を通じて、私の意識は変わりましたが、エシカル消費を友達に勧めるのは照れくさく、気が引けてしまいます。なので、テレビやお店などから、エシカル消費の言葉や意味をどんどん広めてくれたら嬉しいです。

それから…エシカルな母に、私が手作りしたお買い物バッグをプレゼントしました。重たいものを入れると、肩が少し痛くなるそうですが、もったいないので、しばらくは辛抱して使ってもらおうと思っています。

竹内さん、ありがとうございました。なるほど、自分と向き合い、問題点を調べてみるとは立派ですね。来月は、他の取り組みを紹介しますので、ぜひご覧ください。板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎ 672-5994

板野町の取り組み

9月1日(日)、文化の館にて、「板野町消費生活相談所開設10年記念式典」をエシカル消費をテーマに開催しました。ご来賓・町民の皆様約370名にお越しいただき、小中学校「消費生活に関する夏休み課題」優秀作品の表彰式をはじめ、消費生活相談所や藍染め工房 saai dye studio の活動発表の他、板中生による研究発表、板高生による演劇や四国大学短期大学部教授の加渡いづみ氏による講演を行いました。



『板野高校 演劇部』



『加渡いづみ氏の講演』

『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。

ある日の先生

最近、トカッが美味しくないだけじゃない!?
胸焼け・微熱・むくみ・
だるさ・お腹の張り etc.
心配した夫が病院で
調べてくれてるけど…。
はあああ。

